

第4回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日時 令和4年7月28日(木) 13:00~14:30

場所 周南市役所 庁議室(本庁舎4階) ※WEB併用

出席者 【構成員】(敬称略)

藤井 律子	周南市長
辻 佳子	公益社団法人化学工学会 地域連携カーボンニュートラル推進委員会委員長 東京大学環境安全研究センター教授
三品 鉄路	出光興産株式会社 執行役員 徳山事業所長
田代 克志	東ソー株式会社 代表取締役 専務執行役員 南陽事業所長
奥野 康	株式会社トクヤマ 執行役員 徳山製造所長
藤池 一博	日鉄ステンレス株式会社 常務執行役員 製造本部 山口製造所長
本間 彰	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長

【オブザーバー】(敬称略)

小島 裕章	農林水産省 林野庁 林政部 木材利用課 課長
吉村 一元	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長
赤間 康一	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長
福島 健彦	環境省 水・大気環境局 総務課長(兼任) 自動車環境対策課長
前田 安典	山口県産業戦略部 部長
稲葉 和也	周南市水素利活用協議会 会長 山口大学 大学院技術経営研究科教授
福代 和宏	周南市木質バイオマス材利活用推進協議会 会長 山口大学 大学院技術経営研究科教授

【補佐人】(敬称略)

石戸 利典	公益社団法人化学工学会 株式会社IHI エグゼクティブフェロー
阿尻 雅文	公益社団法人化学工学会 東北大学材料科学高等研究所教授
松方 正彦	公益社団法人化学工学会 会長 早稲田大学理工学術院先進理工学部 教授
藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
具嶋 文彦	出光興産株式会社 徳山事業所 担当部長
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
稲毛 康二	東ソー株式会社 南陽事業所 副事業所長
土谷 和寛	東ソー株式会社 南陽事業所 事業所長室 技術管理グループ
河野 敦之	株式会社トクヤマ 徳山製造所副所長兼工場企画運営グループ リーダー
井上 裕司	株式会社トクヤマ 経営企画本部 カーボンニュートラル戦略室 室長
大森 一幸	株式会社トクヤマ 徳山製造所 工場企画運営グループ 主席

小松 康尚	株式会社トクヤマ 経営企画本部 カーボンニュートラル戦略室 主席
甘庶 佳昭	日鉄ステンレス株式会社 生産技術室 室長
平川 宏之	日本ゼオン株式会社 本社 カーボンニュートラル統括推進部門長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場 総務人事課 企画グループ

【陪席・随員】

日比野 佑亮	農林水産省 林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス推進班 課長補佐
井出 大士	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
佐野 徹	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
稲原 宏昭	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官
大谷 宗宏	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室 総括係長
石本 新吾	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 室長
是松 恭介	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 課長補佐
東 晃平	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 主査
山口 慎介	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 課長
今井 努	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 港湾保安調査官
岩本 康彦	山口県産業戦略部 審議監
勢登 俊明	山口県産業戦略部 主査

【事務局及び関係課】

佐田 邦男	周南市副市長
山本 敏明	周南市産業振興部長
上野 貴史	周南市産業振興部次長
荒美 雅丈	周南市産業振興部 商工振興課長
吉村 涉	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室長
山根 正敬	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室長補佐
井尻 帆乃香	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
篠原 寿希也	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
川口 洋司	周南市企画部長
河本 浩	周南市環境生活部長
山田 将之	周南市環境生活部 環境政策課長

議事次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 副会長あいさつ
4. 議事
 - (1) 事務連絡事項（事務局）
 - (2) 報告事項
 - ①令和3年度事業報告及び決算報告について（事務局）
 - ②グランドデザインワーキング議論について（松方WG主査）
 - (3) 協議事項（化学工学会）
 - ①周南コンビナート脱炭素化グランドデザイン・ロードマップについて
 - (4) 審議事項（出光興産）
 - ①コンビナートの水素、燃料アンモニア等供給拠点化に向けた検討（出光興産）
5. その他
今後の日程について 他

議事録

1. 開会

（司会）

ただいまから、「第4回周南コンビナート脱炭素推進協議会」を開催いたします。

本日は大変ご多用のところ、御出席を賜り、誠にありがとうございます。

私は、本日、進行を務めます、周南市商工振興課長の荒美と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、次第のとおり進行し、15時までを予定しております。

本来であれば、御出席の皆様をご紹介するところでございますが、時間の関係上、配布しております出席者名簿と配席図をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、議事（2）報告事項①令和3年度事業報告及び決算報告についてまでの部分公開とさせていただきます。

それでは、開会にあたり、会長と副会長からご挨拶をいただきたいと思います。

最初に、会長の藤井市長、お願いたします。

2. 市長あいさつ

（市長）

皆様、こんにちは。協議会会長、周南市長の藤井律子でございます。

開催にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

今年1月、本協議会の設立総会で、私は、「周南コンビナートの将来構想を描き、ここ周南から脱炭素の変革を起こします。」と、その覚悟と意気込みを申し上げました。

その後、化学工学会の皆様、本日お集まりのコンビナート企業の皆様が、それぞれの立場から、議論を重ねてくださいました。

また、本日オブザーバー参加をいただいております、国、県、学識経験者の皆様からは、周南らしさに加え、日本全体へと波及するためのアドバイスもいただき、感謝申し上げます。

今回からは、新たに林野庁木材利用課様にもオブザーバーとして加わっていただきましたので、森林活用の視点からのアドバイスをよろしく願いいたします。

さて、本日の総会では、周南コンビナートのランドデザインやロードマップなど重要事項を協議します。

皆様の英知を結集し、周南コンビナート脱炭素の羅針盤となるランドデザインを策定したいと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(司会)

ありがとうございました。続いて、副会長の公益社団法人化学工学会の辻様、お願いいたします。

3. 副会長挨拶

(化学工学会 辻)

本日第4回を迎えることができとても嬉しく思っています。

周南コンビナートをモデルケースとして、具体的なランドデザインについて、ワーキングの中で議論が始まってきたことが前回から大きく進んだこととございます。

スピード感を持って取り組み、社会実装することが大切です。そのためにも、フォアキャスト的な考え方と、バックキャスト的な考え方をうまく融合させて、社会実装することをこの協議会で議論し、構成員が一枚岩で取り組んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。

なお、協議会規約第6条第2項「総会の議長は会長をもってこれに充てる」とありますので、ここからの進行は会長である藤井市長にお願いいたします。

(市長)

皆様、よろしく願いいたします。それでは、早速議題に入ります。

まず、議事(1)事務連絡事項について、事務局から説明をお願いします。

4. 議事 (1) 事務連絡事項

(事務局)

それでは事務連絡事項です。資料 1 といたしまして、画面に投影をさせていただきます。まず 1 点目、林野庁の協議会オブザーバー就任についてです。

5 月 9 日の第 1 回グランドデザイン策定ワーキングにおいて、コストの優位性などの地域特性を踏まえ、木質バイオマスの物質としての活用を検討するという方向性について、皆様に合意をいただきました。

検討にあたって、林野庁様に協議会にオブザーバーとして就任いただくこと。また、その依頼を早急に行う必要があることから、第 3 回協議会を书面決議により開催し、就任を依頼することについて、皆様の御承認をいただきました。

これを踏まえ、7 月 1 日、林野庁 林政部木材利用課長小島様にオブザーバーの就任の依頼を差し上げまして、本日の協議会から、御参加頂くこととなりました。

次に、経済産業省中国経済産業局様の協議会参画についてです。

6 月に中国経済産業局様から、地域の動向把握、必要なサポートの実施に向けて、本協議会への参画について御相談を頂きました。

現在、経済産業省様には素材産業課長の吉村様に参画いただいておりますので、本省とも調整させていただき、本日の協議会から、中国経済産業局様に陪席という形で御参画いただくこととなりました。

続きまして、周南市のクリーン燃料アンモニア協会の加入についてです。

同協会は、CO₂ フリーアンモニアの燃料及び原材料としての利用等によるバリューチェーンの構築を目的に、2019 年に設立され、13 社の理事会員、109 社の一般会員などで構成されています。

本市は 6 月 8 日付で特別会員となり、自治体としては、新居浜市、四日市市に続く 3 団体目となります。

このプラットフォームでの活動を通じて、情報収集や連携を図り、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

連絡事項は以上でございます。

(市長)

ただいまの事務局の説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。それでは、特にご質問等ないようですので、(2) 報告事項に入ります。

4. 議事 (2) 報告事項①令和 3 年度事業報告及び決算報告について

(市長)

まず、令和 3 年度事業報告及び決算報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

お手元の資料、令和 3 年度事業報告・決算報告案をご覧ください。

1 ページをお願いします。

令和3年度事業報告を、ご説明いたします。

本年1月6日に、本協議会の設立総会及び第1回協議会を開催しました。

化学工学会様から地域連携カーボンニュートラル推進の取組、オブザーバーの経済産業省様、国土交通省様、環境省様から脱炭素に係る国の政策の御説明、意見交換などをさせていただきました。

令和4年2月21日、徳山商工会議所工業部会、運営幹事会15名の方を対象に、辻副会長による講演会を開催しております。本協議会の趣旨・取組などについて、広報・啓発を図ったところです。

令和4年3月24日には、第2回協議会を開催しております。

事業計画案及び予算案、ランドデザイン策定に向けた検討状況などを、皆様に御協議頂きました。

令和3年度事業報告は以上です。

続いて、2ページをご覧ください。

令和3年度収支決算についてです。

収入といたしまして、周南市からの交付金が62万3,000円。

支出としましては、協議会の開催に要する旅費として、22万6,860円、報償金、3万7,714円、源泉徴収4,286円、役務費として、3,355円を支出しております。

また、返還金として、収入から支出分を差し引いた35万785円を、周南市へ返還し、支出の合計は62万3千円となり、収入から支出を差し引いた額は、0円でございます。

説明は以上でございます。

(市長)

ここで、監査を代表して、出光興産株式会社執行役員徳山事業所長の三品様より、監査報告をお願いいたします。

(出光興産 三品)

今ご紹介いただきました監事を代表して、出光興産株式会社三品でございます。

監査報告をさせていただきます。

令和3年度の周南コンビナート脱炭素推進協議会の決算におきまして、厳正に監査した結果、その内容及び帳簿等関係書類において適正処理されていることを認め、これを報告いたします。以上です。

(市長)

ただいまの事務局の説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。それでは、特にご質問等ないようですので、令和3年度事業報告及び決算報告について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、令和3年度事業報告及び決算報告につきましては、原案のと

おり承認されました。

なお、ここからの議事は非公開となります。協議会規約第 11 条により、お示しします資料・議事の取扱いには御留意いただきますようお願いいたします。

4. 議事（3）協議事項①周南コンビナート脱炭素化グランドデザイン・ロードマップについて

—非公開—

4. 議事（4）審議事項①コンビナートの水素、燃料アンモニア等供給拠点化に向けた検討

—非公開—

5. その他

—非公開—

6. 閉会